



## Topics

～第43回総合的交通基盤整備連絡会議を開催～

テーマ

### デジタル技術を活用した 地域交通の確保と観光活性化の取り組み

2022/8/24(水)  
13:00～15:00  
オンライン開催

毎年開催している総合的交通基盤整備連絡会議ですが、新型コロナウイルス感染拡大を受け、今年度もオンラインで開催しました。テーマは、「デジタル技術を活用した地域交通の確保と観光活性化の取り組み」です。

北海道から沖縄まで、全国の自治体から、約230名の参加がありました。当日の講演やパネルディスカッションの要旨等を報告いたします。



## 講演

講演1 福島大学 教育研究院 准教授(経済経営学類担当) 吉田 樹  
『おでかけウェルカム』な地域交通を目指して

- 「地域モビリティを地域の意思決定で作り出す」という視点で、地域の取り組みを見直してほしい。
- データは、課題が可視化され、合意形成の「道具」として有効であるが、施策への落とし込みには、従来型の勘・経験・度胸が必要。
- コロナ禍で、おでかけ自体がネガティブに捉えられる中で、おでかけの楽しみ(需要)自体を作ることも重要。

講演の動画 <https://youtu.be/3t2XVpQUCIY>

講演の資料 <http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/soukou-magazine/136-1sougoukoutsu.pdf>

動画



資料



吉田 樹(よしだ いつき)  
首都大学東京助教等を経て、2013年4月より現職。専門は、地域交通政策、地域経済論。全国各地の公共交通政策に携わり、「現場での実践」に基づく理論構築に努める。

講演2 NTTデータ経営研究所 金融政策コンサルティングユニット 地域公共政策チーム 坂田 知子  
「デジタルも活用した移動への貢献に留まらない地域交通の可能性」

- 自治体でのデジタル技術の活用はヒト・モノ・カネ等のリソースに鑑み、施策として持続可能であることが重要。
- 好事例をそのまま施策適用することは適切でない。自地域の真の課題を定量的・定性的両面からの分析で特定し、対する施策を多面的に検討したうえで、どこにデジタル活用すべきかを峻別、スモールスタートから始めることが大切。
- コミュニティ等の機能も交通基盤と捉え、デジタル”も”活用し、暮らしに資する地域交通の可能性拡大を期待したい。

講演の動画 <https://youtu.be/eL6ulhfQwdE>

講演の資料 <http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/soukou-magazine/136-2sougoukoutsu.pdf>

動画



資料



坂田 知子(さかだ ともこ)  
地方自治体の職員を経て、2020年7月より現職。自治体職員時代に自らコミュニティバスのGTFS-JPデータを整備し、経路検索サービスやデジタルサイネージへの実装に取組んだ経験を持つ。

### 講演 3 熊本県荒尾市 市長 浅田 敏彦 「公共交通が生み出す地域活性化への挑戦」

- 全国で初めて、市内全域を対象とするAIを活用したオンデマンド相乗りタクシー「おもやいタクシー」を導入。
- 距離帯による変動料金や既存バスとの相互利用割引等により、バスの利用促進、利用者の住み分けを実現。
- 今後もニーズを基本とし、様々な事業者や施策と連携を図り、利便性の向上、利用者の負担軽減を目指す。

講演の動画 <https://youtu.be/S1HmUhMTv58>

講演の資料 <http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/soukou-magazine/136-3sougoukoutsu.pdf>

動画



資料



**浅田 敏彦(あさだ としひこ)**  
熊本県荒尾市出身。62 歳。国立有明高専電気工学科卒業後、民間企業に勤務。1983 年荒尾市役所入庁、くらしいき課市民応援係長、政策企画課長、総務部長、企業局長などを経て 2016 年 12 月退職。17 年 2 月荒尾市長に就任。現在 2 期目。

### 講演 4 福島県会津若松市 企画政策部地域づくり課 小島 圭貴 「地域との協働による公共交通の課題解決に向けた取組紹介」

- 2019 年度から、「会津 Samurai MaaS 協議会」により、生活・観光交通での MaaS の取組を開始。これまでにデジタルチケットの発売、相乗り型タクシーや AI オンデマンドバスの実証運行等の取組を実施。
- 地方での MaaS の取組は、メニューを束ねる、増やす、掛け合わせるという、広義の MaaS の取組が必要。
- できることから取組を始め、モードやエリアなどを徐々に広げ継続していくことが重要で、関係者との意識共有や動きやすい体制づくりが求められる。

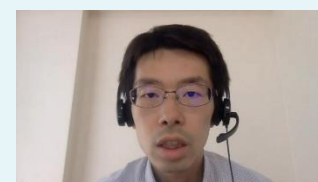
講演の動画 <https://youtu.be/JHWD8kqFTtU>

講演の資料 <http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/soukou-magazine/136-4sougoukoutsu.pdf>

動画



資料



**小島 圭貴(こじま けいき)**  
2017年3月山形大学大学院理工学研究科を修了し、同年4月に会津若松市役所へ入庁。環境保全事業に携わった後、現在は地域公共交通に関する業務に従事。

## 質疑応答・ディスカッション

質疑応答・ディスカッションの動画

<https://youtu.be/bzLHcujJMSE>



Q: 荒尾市の「おもやいタクシー」は、路線バスが運行している市街地も含めて、市全域で運行しているのが特徴的であるが、バス事業者との調整は、どのようにしたのか？

熊本県荒尾市 浅田市長

A: 「おもやいタクシー」の実証実験で、バスの利用者も増えたことが大きい。バスから乗継ぎした場合には 50 円引きとし、「おもやいタクシー」をバス停までのラストマイルとして利用する人もおり、共存できていると思う。

Q: 行政からコンサルタントになって気づきはあるか？

NTTデータ総合研究所 坂田氏

A: 行政では、商店や病院がなくなると交通の問題にしていまいがちである。交通だけではなく、総合政策として、いろんな分野と連携して、問題を解決できるといい。



## Q デジタル化やデータを活用する上での課題は何か？

会津若松市 小島氏

A: データを取得しても、一つの分野で活用が閉じてしまうことがある。他分野へデータをシームレスに繋ぐルール作りが課題である。

NTTデータ総合研究所 坂田氏

A: データ活用自体が目的になってはいけない。解決したいことは何か、そのために必要なデータは何かを考える必要がある。

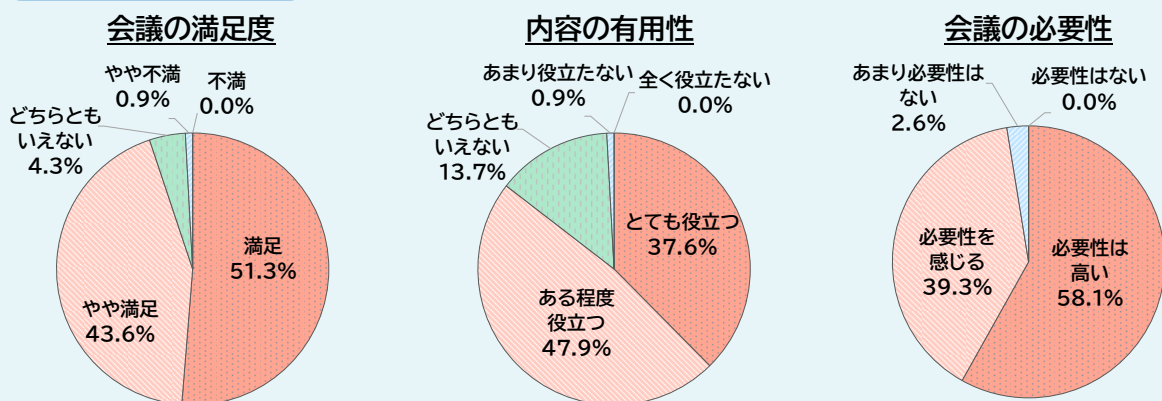
福島大学 吉田准教授

A: データは、解決の糸口にはなるが、それを使って、判断して、施策に落とし込むのは、私たちそれぞれになる。目的を持ってデータに向き合う必要がある。

### 総評(福島大学 吉田准教授)

- 荒尾市・会津若松市からは、デジタル技術を活用し、地域の交通課題を解決するための一手法を提供いただいた。
- 一方、交通の検討にあたっては、交通のみに閉じて考えるのではなく、「交通が生活の中でどういった役割を担っているか」という視点がまず重要。
- そのうえで、地域課題を起点として取組を検討することが重要であり、その際にデータやデジタル技術が一助となるかもしれない。
- デジタルツールの活用やデータに基づく判断の取組と、国の補助が連携するような仕組みづくりを国には期待したい。

## アンケート結果



(n=117)

### 今後連絡会議で取り上げてほしいテーマ・内容(抜粋)

- ・交通から他分野へのクロスセクター効果を踏まえ、データを軸に施策立案に繋がった事例
- ・移動ニーズの小口化・多様化などに合わせ、公共交通の見直しが進んだ自治体の事例
- ・過疎地や小規模の自治体に関する事例
- ・グリーンスローモビリティの事例
- ・近隣の自治体同士が連携し、公共交通に取り組んでいる事例

# 総合交通体系グループだより

## ▶ 事業公募のご案内

### ビッグデータを活用した実証実験事業の公募

9/22(木)  
12時締切

携帯電話の位置情報データ(ビッグデータ)を活用し、観光客や住民の流動を可視化・分析することにより、これまで困難であった各種政策立案や地域の課題解決が可能になることが期待されています。

本事業では、**携帯電話の位置情報データを活用し、交通課題の解決を目指す事業を公募**します。  
具体的な募集要項・お問合せ先等は、下記 URL をご参照ください。

#### 【概要】

応募主体: 地方公共団体、民間事業者等

受付期間: 令和4年8月12日(金)~9月22日(木)12時

【募集要項・応募書類の入手先、お問合せ先】

[https://www.mlit.go.jp/report/press/sogo23\\_hh\\_000140.html](https://www.mlit.go.jp/report/press/sogo23_hh_000140.html)

【参考】令和3年度の実証実験事業



【参考】令和3年度の実証実験事業～岡崎市の事例～



(昨年度採択事業の概要: クリックで PDF に移動)

## ▶ 国・地方公共団体職員向け研修のご案内

### 令和4年度 総合交通体系〔地域モビリティ戦略〕研修

11/14(月)  
~11/18(金)  
開催

本年度も、交通関連業務に従事する国・地方公共団体の職員を対象に、「総合交通体系〔地域モビリティ戦略〕研修」を開催します。

地域交通の課題解決に向けた先進的な取組事例等について、**学識経験者及び先進的な取組を行っている地方公共団体等による講義**を行うほか、**異なる地域からの参加者との課題研究**を通じ、地域モビリティに関する企画立案能力やマネジメント能力の向上の機会を提供します。

本研修の正式募集開始は、**9月中旬**を予定しております。

【お問合せ先】国土交通大学校 計画管理部 企画情報科 澤田・藻垣・岡村

TEL:042-321-7074 E-mail:col-keikakukanri4(at)gxb.mlit.go.jp

(※(at)を@に変えてお送りください。)



(クリックで PDF に移動)

## ▶ 出前講座のご案内

### 「地域のモビリティ確保」(講座 No.33)

国土交通省総合政策局総務課(総合交通体系)では、「**地域のモビリティ確保の知恵袋**」を教材として、地域における人の円滑な移動を確保するための交通施策のあり方や、施策立案のノウハウを説明する**出前講座**を実施しています。

お申込みの際は、下記 URL から「講師派遣申込書」をダウンロード・ご記入いただき、出前講座担当まで、メールまたは FAX で申込書をお送りください。

【出前講座の案内・申込書の入手先】

国土交通省 出前講座のご案内

[https://www.mlit.go.jp/delivery\\_lecture/delivery\\_lecture.html](https://www.mlit.go.jp/delivery_lecture/delivery_lecture.html)

【申込先】国土交通省総合政策局政策課「出前講座」窓口担当

TEL: 03-5253-8111(内線 24216、24217) FAX: 03-5253-1548

E-mail: demaekouza(at)mlit.go.jp (※(at)を@に変えてお送りください。)



▶ 地方公共団体職員、交通事業者等向け研修のご案内  
『第10回 地域の交通環境対策推進者養成研修会』  
～サステナブルな ECO 社会の構築を目指した地方からの挑戦～

9/28(水)  
～9/30(金)  
開催

本地域の交通と環境に関わる課題を解決するためには、**その地域で交通環境対策を主導する人材が不可欠**です。そこで、EST 普及推進委員会および(公財)交通エコロジー・モビリティ財団は、地方運輸局や積極的に交通環境対策を実施している自治体と協力し、自治体の実務担当者などを対象として、**現場見学、グループワーク、有識者との意見交換などを盛り込んだ体験型の人材養成研修会を開催**します。

第10回目の今回は、「第11回 EST 交通環境大賞」で国土交通大臣賞を受賞した株式会社伊予鉄グループのある愛媛県松山市を研修地域として実施します。

本研修の募集締め切りは、**9月15日まで**です。若干名のお申し込みを追加受け付け中です。

【日時】 2022年9月28日(水)～30日(金)

【会場】 TKP 松山市駅前カンファレンスセンター 5階(ホール5A) 他

【主催】 EST 普及推進委員会、エコモ財団、国土交通省四国運輸局

【後援】 松山市、株式会社伊予鉄グループ

【対象】 主に地方自治体や交通事業者等の公共交通や環境分野の実務担当者

※実務担当者は係長・補佐級を想定していますが、役職(部課長級)の方も参加可能

【政策課題研究会のテーマ】

- ① 松山都市圏の地域公共交通サービスの改善策を考える～立地適正化計画との関係も踏まえて～
- ② 歩いて楽しい駅前のにぎわいづくりを考える(2グループ)

【参加費】資料印刷費として5千円(交通費、昼食費、宿泊費等は各自負担、宿泊場所は各自手配)

建設コンサルタント等  
の企業の方々も  
ご受講の対象です。

前回の様子(福島県会津若松市)



全体見学会



政策課題検討会

【お問い合わせ先】

環境的に持続可能な交通(EST)普及推進委員会事務局  
公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団(担当:中道)

TEL:03-5844-6268

E-mail: [seminar\(at\)estfukyu.jp](mailto:seminar@estfukyu.jp)(※(at)を@に変えてお送りください。)

【申込先】<http://www.estfukyu.jp/training2021.html>

## Information

### ▶ 総合交通メールマガジンへのご意見をお寄せ下さい！

本メールマガジンでは、読者の皆様からのご意見・ご要望を踏まえ、内容の充実を図りたいと考えています。誌面の感想、取り上げて欲しいテーマなどがございましたら、下記までご連絡ください。

### ▶ 地域の取り組み・イベント案内 募集中！

当課では、**総合的な交通施策の取組**について情報提供頂ける自治体等を募集しています。**地域の交通拠点の形成・再編による地域交通の維持・活性化の取組**などを本メールマガジンで紹介し、ノウハウ等の情報共有ができればと考えております。自薦・他薦は問いませんので、お気軽にお寄せ下さい。

また、**イベントや勉強会・講演会・セミナー**などにつきましても、当メールマガジンにてご案内させていただきます。主催者の方からでも、耳よりの情報でも構いません。是非お寄せください。

【ご意見・情報提供】 [hqt-soukou01\(at\)mlit.go.jp](mailto:hqt-soukou01@mlit.go.jp) ※(at)を@に変えてお送りください

## 総合交通メールマガジンとは

総合交通メールマガジンは、**交通基盤整備や地域交通に関する最新の取り組み**を幅広く紹介することを目的として発行しているメールマガジンです。主な配信先は都道府県、市町村等の交通施策担当者です。当メールマガジンで紹介する記事は、執筆者が任意の協力のもとで作成したものであり、成果を広く共有する観点から、二次的利用も可能な形式で掲載しております。配信申込は以下からお願いいたします。

【配信申込】 以下を添えて、メールでお申し込みください。  
(団体の場合)所属、氏名、電話番号、メールアドレス  
(個人の場合)所属(職業)、氏名、電話番号、メールアドレス

【申込先】 国土交通省総合政策局総務課(総合交通担当) メールマガジン担当宛

E-mail: [hqt-soukou01\(at\)mlit.go.jp](mailto:hqt-soukou01@mlit.go.jp) ※(at)を@に変えてお送りください

TEL: 03-5253-8111(内線 53-113)

【バックナンバー】

[http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/seisakutokatsu\\_soukou tk 000005.html](http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/seisakutokatsu_soukou tk 000005.html)



また、当メールマガジン以外にも、**公共交通政策全般**について、国民の皆様に関心を持って頂くためのメールマガジンを配信しております。ご興味のある方は、以下より配信のご登録をお願いします。

【配信登録】

[http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/transport/sosei\\_transport tk 000039.html](http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/transport/sosei_transport tk 000039.html)



### ※配信先の変更について

メールマガジンの受付窓口が変更になった行政機関等の方につきましては、配信先のご変更をお願いいたします。なお、様々な部署で楽しんで頂けるよう努めて参りますので、配信継続も歓迎しております。

【配信先の変更申請】 [hqt-soukou01\(at\)mlit.go.jp](mailto:hqt-soukou01@mlit.go.jp) ※(at)を@に変えてお送りください

【本メールマガジンについての問い合わせ先】

国土交通省 総合政策局 総務課(総合交通体系グループ) 担当: 島川

TEL: 03-5253-8111(内線 53-113)

E-mail: [hqt-soukou01\(at\)mlit.go.jp](mailto:hqt-soukou01@mlit.go.jp) (※(at)→@)

総合交通体系 Web サイト: <http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/index.html>

